

第72回全国植樹祭の開催準備状況について

1 これまでの経緯

- ・平成30年7月 第72回全国植樹祭滋賀県実行委員会設立(第1回総会)
- ・平成30年8月 第72回全国植樹祭滋賀県開催正式決定(国土緑化推進機構理事会)
- ・平成30年10月 第72回全国植樹祭開催地正式決定:「鹿深夢の森(甲賀市)」
- ・平成31年2月 第72回全国植樹祭滋賀県実行委員会(第2回総会)
- ・令和元年7月 第72回全国植樹祭滋賀県実行委員会(第3回総会)

2 現在の取組状況

I 実行委員会の開催

(1) 専門委員会の開催

① 式典専門委員会(第1回:H31.3.27、第2回:R1.6.27)

- ・先催県の事例について情報共有(第70回全国植樹祭あいち2019ほか)
- ・式典行事にかかる滋賀らしい演出や構成等について検討。

② 大会テーマ・シンボルマーク専門委員会(第1回:H30.12.20、第2回:R1.6.10)

A 大会テーマの審査・選定

- ・大会テーマを公募(H30.10.12~11.30)、全国から1,730件の応募。
- ・最優秀作品候補(大会テーマ候補)1点、優秀作品候補3点、次点作品候補1点を選定。
- 第3回総会(R1.7.30)において「大会テーマ」を決定。

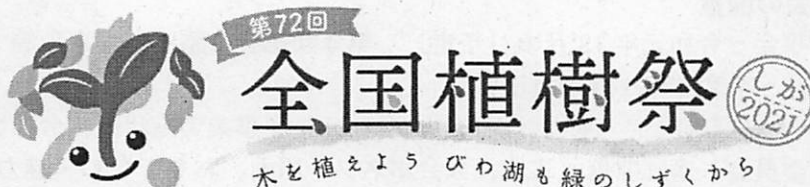
◆大会テーマ:「木を植えよう びわ湖も緑のしずくから」作者:保岡直樹さん(東京都)

I シンボルマークの審査・選定

- ・シンボルマークを公募(H31.2.12~3.31)、全国から393件の応募。
- ・最優秀作品候補(シンボルマーク候補)1点、優秀作品候補3点、次点作品候補2点を選定。
- 第3回総会(R1.7.30)において「シンボルマーク」を決定。

◆シンボルマーク:(右図のとおり) 作者:松岡英男さん(山形県)

※第3回総会において、大会テーマ・シンボルマーク決定後に、大会ロゴマークを公表。



③ 大会ポスター原画専門委員会(第1回:R1.10予定)

- ・大会ポスター原画の公募(R1.6.14~9.10)【現在募集中】
- ・大会ポスター原画の審査・選定(R1.10予定)

→ 第4回総会(R2.1予定)において「大会ポスター原画」を決定予定。

④ おもてなし・魅力発信専門委員会(第1回:R1.10予定)

- ・おもてなし弁当の検討、おもてなし広場の企画検討、招待者「視察コース」の検討

(2) 幹事会、総会の開催

① 第2回幹事会

日時および場所：令和元年7月11日（木）13:30～15:00 大津合同庁舎7階 7-D会議室
内容：第3回総会に諮る審議事項等

② 第3回総会

日時および場所：令和元年7月30日（火）13:30～15:00 滋賀県庁東館7階 大会議室
内容：報告事項（令和元年度取組状況、企業等協賛の募集、会長専決処分（会則、暫定予算））
審議事項（大会テーマ・シンボルマーク等の決定、平成30年度事業報告、平成30年度
収支決算、令和元年度収支予算、専門委員会への付託事項）
検討事項（第72回全国植樹祭基本計画（中間案）【別紙のとおり】）
その他（甲賀市の取組、今後の予定）

II 県民活動の推進

(1) 「鎮守の森のプロジェクト in La Collina」への参画

日時および場所：平成31年4月21日（日）10:00～17:00 ラコリーナ近江八幡（近江八幡市）
参加者：鎮守の森のプロジェクト細川護熙^{もりひろ}代表、株式会社たねや山本 CEO、三日月知事、
小西近江八幡市長、北滋賀県緑化推進会理事長、一般県民（公募）等 約180人
内容：トークイベント（鎮守の森のプロジェクト取組紹介、全国植樹祭しが2021PR）
植樹イベント、ブース出展（全国植樹祭しが2021PR、水草堆肥活用、緑の募金等）

(2) 伐る！から始める「びわこ令和の森づくり」プロジェクトへの参画

日時および場所：令和元年5月31日（金）11:00～12:30 県立近江富士花緑公園（野洲市）
参加者：三日月知事、野洲市立野洲小学校4年生 約150人
内容：木を伐って、使って、再び植えることで、森林資源の循環利用を推進
◇森林環境学習「やまのこ」事業（間伐体験）
◇第72回全国植樹祭「苗木のスクールステイ」（知事から児童への苗木配布）

III 先催県調査（第70回全国植樹祭あいち2019への参加）

日時および場所：令和元年6月2日（日）8:00～13:00 愛知県森林公園（愛知県尾張旭市）
参加者：県内外招待者およびスタッフ等 約10,000名
滋賀県招待者（生田県議会議長、岩永甲賀市長、北滋賀県緑化推進会理事長、
西嶋副知事、滋賀県実行委員会委員、林業関係団体、市町職員等） 約50名

3 今後の予定

(1) 実行委員会の開催

- ◇ 第3回幹事会：令和元年12月頃〔予定〕 第4回総会に諮る審議事項等
- ◇ 第4回総会：令和2年1月頃〔予定〕
大会ポスター原画決定、基本計画（案）、令和元年度事業実施状況、令和2年度事業計画（案）
- ◇ 各種専門委員会：適宜開催（式典、大会ポスター原画、おもてなし・魅力発信）

(2) 会場整備

式典会場および招待者記念植樹会場の整備に係る調査・設計、お野立所の設置に向けた検討等

(3) 県民活動の推進

- ◇ 「苗木のホームステイ・スクールステイ」の実施（県民および企業等、小学校〔やまのこ学習〕）
- ◇ 関連イベント等の実施（ピワイチ森づくり、グリーンジャンボリー〔緑の少年団交流会〕等）
- ◇ 企業等による協賛（企業、団体、個人等：資金、物資等による協力）
- ◇ 広報活動の実施（ホームページや新聞、SNS等を活用した大会PR、植樹祭だよりの発行等）

環境・農水常任委員会資料（第72回全国植樹祭の開催準備状況について）

第72回全国植樹祭基本計画（中間案）について【概要】

1. 基本計画について

基本計画は、全国植樹祭の開催にあたっての基本的事項（式典行事計画、植樹行事計画等）について定めるものであり、「第72回全国植樹祭滋賀県実行委員会」において、平成30年度（2018年度）～令和元年度（2019年度）の2か年で作成

- ① 基本構想（2018.3策定）
- ② 基本計画（素案）【2019.2第2回総会】
- ③ **基本計画（中間案）【2019.7第3回総会】** 【今回】
- ④ 基本計画（案）【2020.1第4回総会】
「国土緑化推進機構特別委員会」において承認（2020.2）
⇒ 基本計画策定

基本計画
2か年で作成

2. 基本計画（中間案）の検討について 【詳細については 別冊 のとおり】

第1章 開催概要（開催意義、開催理念、開催方針等）【前回から検討】

○開催理念

「私たちは、ふるさと滋賀の地域特性である「森－川－里－湖」のつながりと、いにしえより培われてきた「森林」、「びわ湖」、「人（暮らし）」のかかわりを再確認し、将来を見据えながら森林を守り、活かし、これらの取組を支えることで、碧（あお）く輝くびわ湖と健全で緑豊かな森林を、次の世代、その次の世代へと持続的につないでいきます。」

○開催方針

- (1) 全国植樹祭を通じて、開催理念や本県の魅力等を最大限に発信します。
- (2) 県民総ぐるみで全国植樹祭を盛り上げ、全国から参加される皆さんを「おもてなしの心」でお迎えします。
- (3) 全国植樹祭の開催にあたっては、経費の節減に努めながらも、多様な主体と連携しながら、県民の皆さんと森林に関わる人々の心に残る、滋賀らしい大会となるよう努めます。
- (4) 全国植樹祭の開催を契機とし、開催後も県民総ぐるみで将来を見据えた持続可能な森林づくりを目指していけるよう、SDGs（持続可能な開発目標）の視点を活かした大会とします。
- (5) 会場整備や大会運営にあたっては、環境に最大限配慮した大会を目指します。【今回追記】

○大会テーマ：「木を植えよう びわ湖も緑のしずくから」 【今回決定】

○シンボルマーク：【今回決定】



※大会ロゴマーク（大会テーマ、シンボルマーク決定後に公表）

○開催会場

- ・式典会場：「鹿深（かふか）夢の森〔甲賀市〕
- ・招待者植樹会場：「鹿深夢の森〔甲賀市〕、比叡山〔大津市〕、滋賀県油日林木育種場〔甲賀市〕、みなくち子どもの森〔甲賀市〕、滋賀県希望が丘文化公園〔野洲市〕、東近江市新出町〔東近江市〕
- ・サテライト会場等
 - ◆えきまちテラス長浜（長浜市）、滋賀県立琵琶湖博物館（草津市）【今回決定】
 - ※今後、県内全域で大会を盛り上げるため、一般県民植樹会場やPR会場等についても、地域バランスに配慮しながら設置を検討する。
- ・開催規模：5,000人程度（県内外招待者、出演者、協力者、スタッフ等含む）
- ・開催時期：令和3年（2021年）春季

第2章 式典行事計画【今回から検討】

- 式典構成（プロローグ、式典、エピローグの3部構成：式典専門委員会で検討中）

第3章 植樹行事計画【前回から検討】

- お手植え樹種
〔天皇陛下〕スギ（少花粉）、トチノキ、アカガシ〔皇后陛下〕ヒノキ、イロハモミジ、エドヒガン
- お手播き樹種
〔天皇陛下〕クロマツ、コウヤマキ〔皇后陛下〕ウツクシマツ、ホンシャクナゲ

第4章 会場整備計画（施設配置、主要施設計画、案内・誘導計画等）【今回から検討】

- 基本的な考え方：高齢者や障害者をはじめ、すべての参加者が安全で快適に参加できるよう、ハード面はもちろんのこと、情報アクセシビリティの観点なども含めて、ユニバーサルデザインを意識した会場整備に努めます。【今回追記】

第5章 運営計画（招待計画、招待者行動計画、受付計画、おもてなし広場計画等）【今回から検討】

- 基本的な考え方：大会で使用する資材等には、県産木材を積極的に活用するとともに、廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）の徹底、とりわけ大会参加者への物品の提供については、ワンウェイ（使い捨て）プラスチック包装・容器等の使用を極力なくすなど、環境に最大限配慮した大会を目指します。【今回追記】

第6章 宿泊輸送計画（宿泊計画、輸送計画等）【次回（第4回総会）検討】

第7章 荒天時計画【前回から検討】

- 開催会場：あいこうか市民ホール（甲賀市）

第8章 記念事業等計画（記念事業、関連事業）【今回から検討】

- 記念事業：苗木のホームステイ・スクールステイ、ビワイチ森づくり事業、植樹祭イベント等
- 関連事業：第50回全国林業後継者大会（時期：植樹祭の前日、場所：未定、内容：未定）

第9章 広報・協賛計画（広報計画、協賛計画）【前回から検討】

- 広報計画：インターネット、公共広報、マスメディア活用、企業・団体連携、植樹祭情報誌発行、PRグッズの作成・配布
- 協賛計画：資金協賛、物品協賛、その他（機器等の無償貸与、役務の提供等）